

平成16年度

# 学校教育調査C報告書

分 析 編

岩手県立総合教育センター

## はじめに

当総合教育センターでは、本県の学校教育に関する状況について、様々な立場の方の実態を定期的に把握することにより、県内の学校が抱える課題を知るうえでの基礎的な資料を得るために、また、今後の教育振興等に資するための基礎資料を得るために、本県の学校教育に関する状況について、基本的内容をA調査として3年ごとに、これを補完する具体的内容をB調査、C調査として実施しています。

平成14年度は、学校教育調査の初年度として、児童生徒の学校や家庭・地域での様子などにかかわる「学校教育調査A」を実施しました。平成15年度は、前年度を受けて、児童生徒の学習面に焦点を当てて「学校教育調査B」を実施しました。

平成16年度は、児童生徒の生活面を中心とした「学校教育調査C」を実施しました。調査では、県内12教育事務所管内の小学校23校及び中学校15校、県立高等学校12校、さらに今回は県立盲聾養護学校16校を合わせて66校にご協力をいただきました。調査対象は児童生徒・保護者・学級担任とし、合わせて約4,700名の方から、貴重な回答をいただくことができました。

本報告書の作成は、次の3点に留意して行いました。

- ・同じ質問項目により、校種をまたがって、調査を行ったものは、結果を一つのグラフにまとめ、校種間の比較や変化の様子が把握できるようにしたこと。
- ・各質問項目ごとの集計分析の他、関連があると思われる質問項目とのクロス集計を行い、グラフ作成及び分析を行ったこと。
- ・調査項目の分析ページごとに、必要に応じて、対応するクロス集計のページ、関連すると思われる質問項目のページを表記し、活用の便を図ったこと。

本報告書は、調査対象ごとにまとめた「調査結果の概要」、調査対象・質問項目との分析及びクロス集計の「分析編」、回答データをまとめた「集計編」、全質問項目の校種ごとのグラフ及び調査用紙を掲載した「資料編」で構成されています。

この調査結果が、本県における子供の現状の一端を表していることを踏まえ、本報告書を子供の生活・教育環境等の改善及び健やかな成長に役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、本調査にご協力いただきました児童生徒、保護者、学級担任の皆様、そして教育事務所、教育委員会、学校等の教育関係機関及び関係各位に、改めまして厚くお礼申し上げます。

——— 学校教育調査C 担当 ———

岩手県立総合教育センター教育調査室

室長 中川 誠悦

研修主事 石橋 和彦

研修主事 石川 悦也（主務者）

## 平成16年度 学校教育調査C報告書 分 析 編

発行日 平成17年3月31日

発行所 岩手県立総合教育センター

〒025-0301 岩手県花巻市北湯口2-82-1

TEL 0198-27-2711（代）

FAX 0198-27-3562（代）

<http://www1.iwate-ed.jp/>